

学習のねらい

- ① 登場人物の考え方や、登場人物どうしの関係を捉える。
- ② 場面の展開や表現の仕方に着目する。

確認

文章の流れをつかもう

「百科事典少女」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。①～⑤に当てはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

自宅の一階倉庫部分に父が手を加え、

① をつくった。

・アーケードのお店のレシートを見れば、誰でも利用できる。
・Rちゃんは唯一、レシートなして出入りできるお客さんだった。

「私」は、「うそのお話」(物語)を好んだ。

Rちゃんは② を求めていた。

↓ 最も愛したのは百科事典

Rちゃんは百科事典を読み終えることなく、病気で死んでしまう。

← ③ くらいたった頃

「紳士おじさん」(Rちゃんの④)が読書休憩室を訪れるようになる。

← ⑤ 百科事典を に書き写していった。

・果てしない作業だったが、私たちは見守った。

百科事典を写し終えた紳士おじさんは、二度とアーケードに姿を見せなかった。

- ア 大学ノート イ 本当のお話 ウ お父さん
 工 読書休憩室 才 半年

確認

主題をつかもう

次のあらすじを読んで、作品の主題としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

百科事典が好きな少女「Rちゃん」は、まるでこの世界の全てを知りたいと思っているかのように夢中で百科事典を読み続ける。読書好きの「私」は彼女の声を聞きながら百科事典の中の世界に想像を膨らませていくが、「Rちゃん」は厄介な内臓の病気にかかり死んでしまう。その後、彼女の父が亡き娘の人生の続きを一緒に生きるかのように、百科事典をただひたすら大学5ノートに書き写していく。「私」はその姿に「Rちゃん」の姿を重ね、彼女の父が何年もかけそこに書き写していく様子を見守る。

- ア 「Rちゃん」が亡くなっても、その思いは受け継がれて達成される。
 イ 少女の知的な世界に魅了された「私」が好奇心をかき立てられている。
 ウ 寡黙な父親が、その娘と昔交わした約束をようやく果たす。

参考資料

【作者紹介】

小川洋子(おがわようこ)：一九六二(昭和37)年、岡山県出身。小説家。多数の小説、エッセ

イがあり、フランスなど海外での評価も高い。作品に「博士の愛した数式」「ミーナの行進」「薬指の標本」などがある。

漢字の読み書き

次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- | | | |
|------------------|-------------------|---------------|
| □ (1) 休憩をする | □ (2) 唯一の欠点 | □ (3) 鍵をかける |
| □ (4) 廃材を利用する | □ (5) 椅子とテーブル | □ (6) 月賦で買う |
| □ (7) 部屋を家具で占拠する | □ (8) 了解する | □ (9) 大胆な発想 |
| □ (10) 項目に分ける | □ (11) 要塞を築く | □ (12) 森を探索する |
| □ (13) 水を一杯飲む | □ (14) 目を凝らす | □ (15) 魚を釣る |
| □ (16) フンイキのある人 | □ (17) ホンダナを買う | |
| □ (18) ゴウカナ机 | □ (19) ユカの掃除をする | |
| □ (20) 野球のカントク | □ (21) 長いカミの毛 | |
| □ (22) 家屋がシンスイする | □ (23) 一生ケンメイに働く | |
| □ (24) カタを痛める | □ (25) オオギヨウな態度 | |
| □ (26) イジン伝を読む | □ (27) ワズかな水と食糧 | |
| □ (28) 悪事をくり返す | □ (29) 目のサツカクを起こす | |
| □ (30) スランプにオチイ | | |

重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

| ④ | ③ | ② | ① |
|------|-------|------|------|
| ことさら | ないがしろ | ねぎらう | 目くばせ |
| 例文 | 例文 | 例文 | 例文 |
| 意味 | 意味 | 意味 | 意味 |
| | | | |

問題 次の各文の空欄に当てはまる言葉を、「重要な語句」の中から選び、書きなさい。ただし、空欄に当てはまるように言葉を変化させても構いません。

- (1) 子供の考えを にせず、尊重する。
- (2) 友達に して教える。
- (3) 今年の冬は 寒かった。
- (4) お互いの活躍を て握手する。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1) — 線①「読破」の意味として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 読んだふりをする事。
- イ 読むのをあきらめる事。
- ウ 終わりまで読み通す事。
- エ 読んでいる本を破る事。

□(2) — 線②「学校では知らんぷりのままでいた」とありますが、なぜですか。文章中から探し、十五字以内で書き抜きなさい。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

□(3) — 線③「本当のお話」を正しく説明しているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 有名な作者によって書かれた本格的な小説。
- イ まるで本当の出来事のように感じられる物語。
- ウ 登場人物にうそつきが一人もいない物語。
- エ 創作ではなく現実の事柄について述べた文章。

□(4) — 線④「彼女が最も愛したのは、百科事典だった」とありますが、Rちゃんが夢中で百科事典を読む様子が具体的に書かれている部分を文章の中から二文で探し、初めの五字を書き抜きなさい。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(小川洋子「百科事典少女」より)

(注) 月賦…ひと月ごとの分割払い。

ロマネスク様式…十一〜十二世紀頃の西欧の建築・美術様式。

読解のコツ

◎登場人物の考え方や、登場人物どうしの関係を捉える ↓ 学習のねらい①

「Rちゃん」と「私」の関係性に着目しましょう。

どんなに親しく口をきくようになってからも、……もう二度と読書休憩室には入れないのだ、と二人とも固く信じた。(本文13行目〜17行目)

読書休憩室では親しく口をきくようになった「私たち」ですが、この場面では、学校での二人の関係性が描かれています。読書休憩室と学校ではそれがどのように異なっているのか読み取りましょう。

□(5) ———線⑤「いったい何がおもしろいのか」に表れている「私」の気持ちとして、最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 百科事典が好きなのは分かるが、魅力は理解できない。

イ 百科事典ではなく、ふつうの物語を読むべきだ。

ウ ふうそのお話^⑤をばかにしているのが許せない。

エ ふうそのお話^⑤の楽しさを知らないのが気の毒だ。

□(6) 百科事典を読むRちゃんの様子は、「私」にはどのように見えていますか。文章中の言葉を使って二つ答えなさい。

□(7) Rちゃんの人物像を表す言葉として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 陽気 イ 早熟 ウ 臆病 エ 短気

□(8) Rちゃんが百科事典を心からおもしろいと感じていることが分かる言葉を文章中から探し、書き抜きなさい。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1) — 線①「早く、全部読み終わりたいなあ」とありますが、このように思う理由をRちゃんの言葉から二十五字で探し、初めの五字を書き抜きなさい。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

□(2) — 線②「すごいと思わない？」とありますが、どのようなところがすごいのですか。次の文の「 」に当てはまる言葉を文章中から十三字で探し、書き抜きなさい。
 ・「し」は「 」いるから。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

□(3) — 線③「十分の一の役目」とありますが、具体的にどういうことですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 全部で十文字のうちの一文字。
 イ 全十ページのうちの一ページ。
 ウ 百科事典全十巻のうちの一巻。
 エ 十人のお客さんの中の一人。

| |
|--|
| |
|--|

□(4) — 線④「じっとおとなしくしていた」に表れている、「私」のRちゃんに対する思いとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 尊敬 イ 敬遠 ウ 反感 エ 不信

| |
|--|
| |
|--|

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) アップリア街道：「Rちゃん」が読み上げた百科事典の内容の一つ。

ひまわりの椅子：「Rちゃん」が生前いつも座って百科事典を読んでいた、背もたれの部分にひまわりの柄が描かれた子供用の椅子。

(小川洋子「百科事典少女」より)

35

30

読解のコツ

◎場面の展開や表現の仕方に着目する

Rちゃん亡き後の読書休憩室の様子を捉えましょう。

↓学習のねらい②

一方、本棚の中で十冊肩を寄せ合っている百科事典には、決して手を触れなかった。不思議なことにやってくるお客さんたちもまた、誰ひとり百科事典を開こうとしなかった。そこにそれが並んでいることにさえ、気づいていないかのように見えた。それはただ一人、Rちゃんのための本だった。(本文33行目～37行目)

「誰ひとり百科事典を開こうとしなかった」とあります。百科事典はRちゃんがなくなった後、どうなったかを読み取りましょう。

□(5) — 線⑤「決して手を触れなかった」とありますが、なぜですか。「私」の考えが表れている一文を探し、初めの五字を書き抜きなさい。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

□(6) Rちゃんの死に対する「私」の受け止め方について、次の文の「
 a・bに当てはまる言葉を文章中から探し、aは三字、bは二字で書き抜きなさい。

・椅子に「a」が残っているので、Rちゃんがなくなったことがまだ信じられないが、椅子に「b」が感じられないことから、Rちゃんの死は現実の出来事だと思い知った。

a

| |
|--|
| |
| |
| |

b

| |
|--|
| |
| |
| |

□(7) 「私」の視点から百科事典を人にとえている表現を探し、十字以内で書き抜きなさい。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

□(8) Rちゃんの発言には、百科事典の言葉に対するどのような思いが込められていますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 同情 イ 愛情 ウ 軽蔑 エ 嫌悪

| |
|--|
| |
|--|

まとめテスト

百科事典少女

得点

100点

教科書

P. 37 ~ P. 51

36

1 次の文の空欄に当てはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

2点×8 16点

□(1) 「百科事典少女」とは①のことで、世界の全てを知りたいと思うかのように夢中で②を読み続けていたが、③の病気で死んでしまう。その後、父親である「紳士おじさん」が娘の人生の続きを生きるかのように、②を黙々と大学ノートに書き写していく。④「はその姿に「Rちゃん」の姿を重ね、何年もかけて書き写していく様子を見守っている。

ア 私 イ Rちゃん ウ 内臓 エ 百科事典

□(2) 「Rちゃん」と「紳士おじさん」の共通点は、少女のアップリケが縫い付けられた①を持って読書休憩室へ来ることと、②の模様のいすに座ることである。相違点は、「Rちゃん」がアーケードのお店の③を保持せずに読書休憩室に出入りするのには、「紳士おじさん」はアーケードのお店で毎回小さな買い物をして、その③を持って訪れることである。また、「Rちゃん」は百科事典を声に出して読むことがあったが、「紳士おじさん」は何も言わず、④に書き写した。

ア レシート イ 手提げ袋 ウ 大学ノート エ ひまわり

2 次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

□(1) 皮膚科に行く □(2) 逸話を残す □(3) 道が舗装される
□(4) 休憩する □(5) 身の回りの整頓 □(6) 準備が完了する
□(7) ザンシンな考え □(8) ユイイツの弱点 □(9) 自転車のカギ
□(10) イスに座る □(11) セイサンな戦い □(12) ゲップで購入する

3 次のア～カの各文のうち、線の語句の使い方が正しいもの全てを選びなさい。

完答 10点

ア 昔のことを鮮明に覚えている。
イ 多くのことを一心に進める。
ウ 疲れているが根気強くあきらめられた。
エ 我が子の性格を心得ている。
オ 多くの人が彼の考えに同意した。
カ 言い争いで談笑した。

□

□

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(小川洋子「百科事典少女」より)

30

25

20

15

10

5

□(1) — 線①「手提げ袋もいっしょだった」とありますが、この表現の特徴を説明した文として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言葉の順序を入れ替えている。

イ 人ではないものを人のように表現している。

ウ リズムの似た言葉を繰り返している。

エ 主語を省略している。

10点

□(2) — 線②「声に出さずに飲み込んだ」とありますが、なぜですか。「Rちゃんのことを」に続くように答えなさい。

Rちゃんのことを

15点

□(3) — 線③「手提げ袋は少しずつ膨らんでいった」とありますが、中には何が入っていますか。文章中の言葉を使って二十字以内で書きなさい。

15点

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

□(4) — 線④「さあ、どうしてだろうねえ」とありますが、紳士おじさんの行動に対する父の受け止め方を、文章中から五字で書き抜きなさい。

10点

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |